

1～4年次前期・選択

2単位・30時間

---

---

**【概要・目標】**

わたしたちは日常的に、あまり意識することなく、様々な物事を比較・分類し、線引きを行うことで秩序を構築しながら暮らしている。本講義では、我々を含め、世界の様々な地域で暮らす人々が、分類や線引きを行うことで「文化」を作り出していること、またその分類や線引きが、時代とともに不明瞭になったり、変化したりしうることを明らかにする。具体的には、ジェンダー、人間の生死やライフサイクル、人格の問題を取り上げる。それを通じて様々な線引きのあり方を知り、身近な出来事をより抽象的なレベルで考える訓練を行う。

---

**【授業内容・スケジュール】**

- 1) イントロダクション：文化・分類・境界
  - 2) きたなさの正体 (1)：分類と秩序
  - 3) きたなさの正体 (2)：分類と境界
  - 4) 人間のライフサイクル：人の一生と通過儀礼
  - 5) 人間の生 (1)：妊娠という経験
  - 6) 人間の生 (2)：出産という経験
  - 7) 人間の死 (1)：伝統的な生と死
  - 8) 人間の死 (2)：現代における生と死
  - 9) 身体は誰のものか (1)：人格のありか
  - 10) 身体は誰のものか (2)：臓器移植から考える
  - 11) 呪術と科学 (1)：藁人形は非科学的？
  - 12) 呪術と科学 (2)：呪術のリアリティ
  - 13) 男と女 (1)：セックスとジェンダー
  - 14) 男と女 (2)：境界に生きる人々
  - 15) まとめ
- 

**【評価】**

平常点 (50 点)、レポート (50 点) で総合的に評価する。平常点は授業への参加態度、授業毎に提出する小レポートにより評価する。また、レポートについては、講義で扱った抽象的なテーマについて、身近な具体的な事柄と結びつけて論述してもらい、その内容により評価する。

---

**【教科書】**

授業ごとにプリント・資料などを配布する

---

**【推薦参考図書】**

波平恵美子編『文化人類学—カレッジ版』第3版, 医学書院, 2011年.

浮ヶ谷幸代著『身体と境界の人類学』春風社, 2010年.

---

**【その他】**

オフィスアワーはもうけないが、質問などは各授業後に随時受けつける。